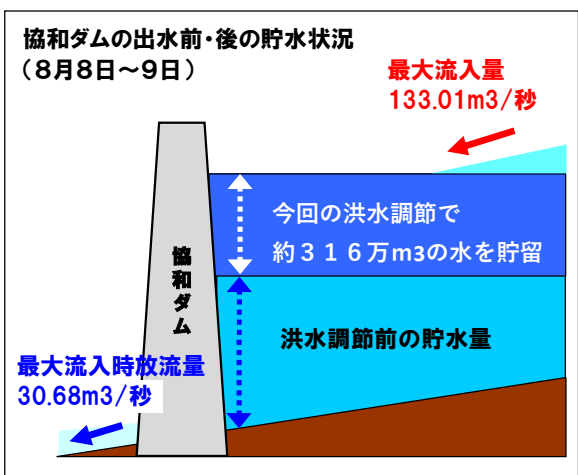
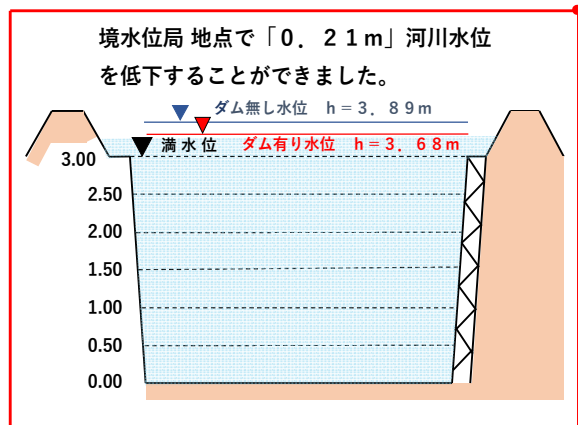
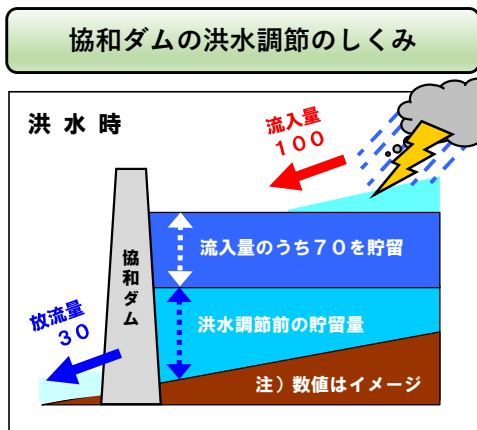


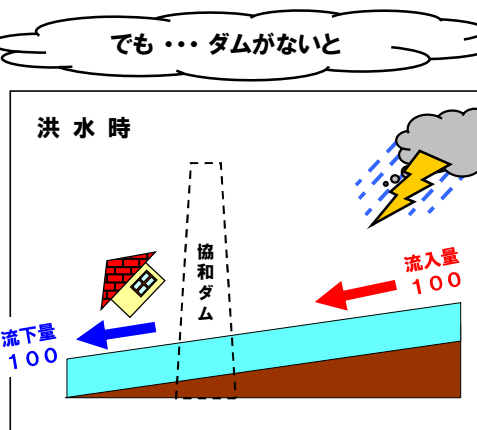
協和ダムの洪水調節効果【秋田県】（速報）



協和ダムは、ダム地点における計画最大洪水流量390 $\text{m}^3/\text{秒}$ に対し、ダムからの放流を0～60 $\text{m}^3/\text{秒}$ にとどめ、ダム下流に流す水量を減らし洪水被害の軽減に努めています。



洪水時には、ダムに100流れてくる水のうち70をダムに貯留し、下流の淀川には30だけ流し河川の水位上昇を抑制します。



流れてくる100の水は、そのまま100下流の淀川に流れていきます。

協和ダムでは、7月15日～16日の豪雨出水（梅雨前線）で洪水調節を行いました。その結果、約316万 m^3 （過去最大）の水をダムへ貯留し、ダム下流の淀川の水位上昇を抑制し、洪水被害の軽減に努めました。

協和ダムの洪水調節効果【秋田県】（速報：別紙）

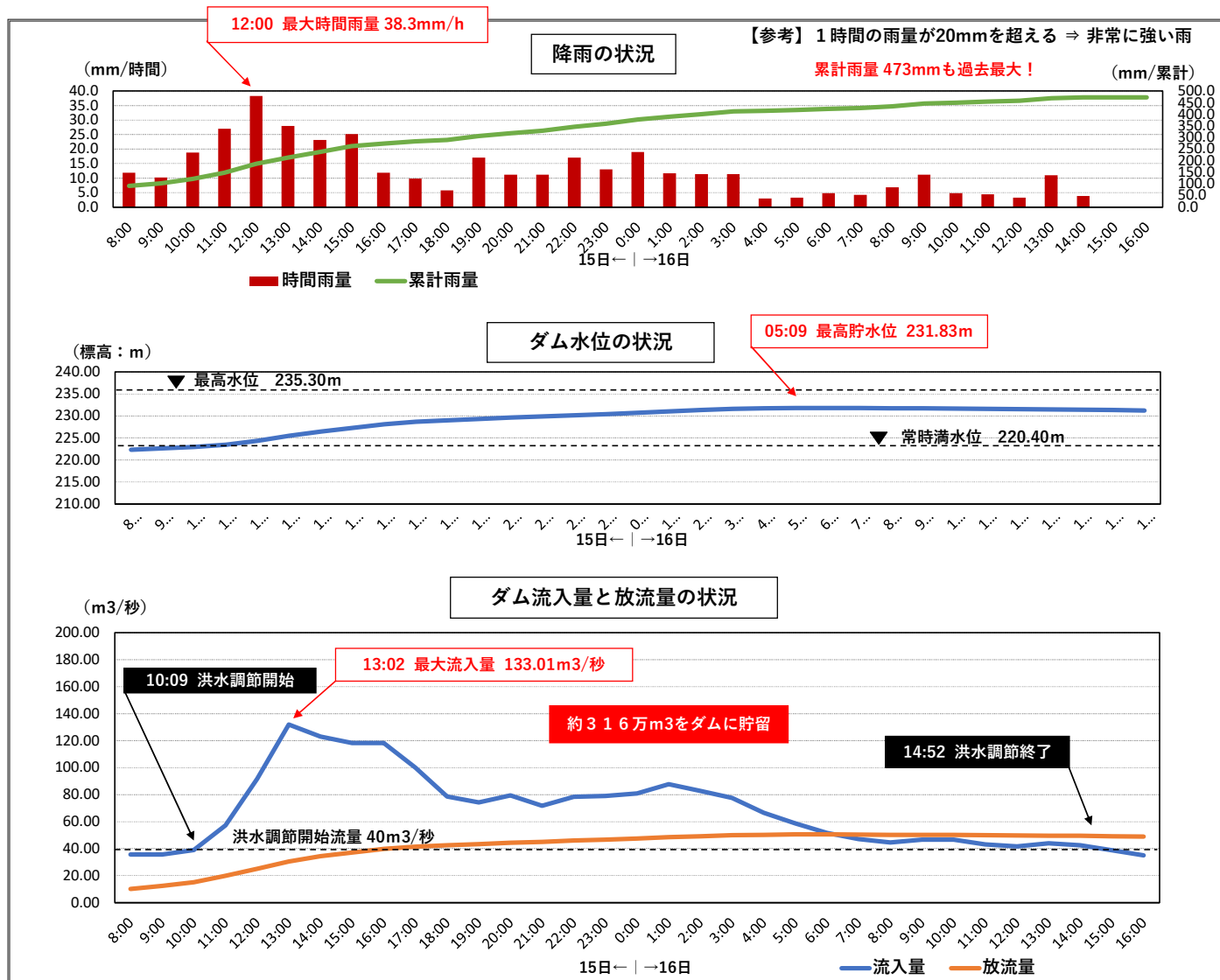
概況

※今後の調査により数値等が変わる場合があります。

協和ダムでは、7月15日～16日の梅雨前線のため洪水調節を行いました。

降雨の状況は、最大時間雨量 38.3mm、累計雨量 473mmとなり、協和ダムにおける最大流入量は 133.01m³/sまで上昇しました。

洪水調節の結果、洪水調節容量として、約316万m³（ダム完成後最大）の水をダムへ貯留し、淀川の水位を下げることができました。



7月15日 12時30分 雨雲レーダー



出典：tenki.jp

協和ダム諸元

河川名	雄物川水系 淀川
形式	重力式コンクリートダム
目的	洪水調節、流水の正常な維持、上水道
ダム長	222.50m
ダム高	49.30m
湛水面積	0.49km ² （美山湖）
流域面積	24.40km ²
最高貯水位	235.30m（標高）
有効貯水量	7,800千m ³
洪水調節容量	5,500千m ³
計画洪水量	390m ³ /秒
竣工年月	平成11年3月